

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成30年8月1日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,  
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 30週

平成30年7月23日 ~

平成30年7月29日

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ										0																				

## 小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,  
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~					
RSウイルス感染症	6		2					2		10	3	2	5																
咽頭結膜熱	2				2		2	4		10			2		2	3			3										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	1				6	12	3	24			1	3	2	3	7			2		3						3	
感染性胃腸炎	5	8	4	2	30	9	17	55	7	137		12	15	20	26	11	11	10	8	4	2	4	6					8	
水痘		1						2	1	4						2					1	1							
手足口病	9		1	1	3	1	6	8		29		3	14	4	4	1	2	1											
伝染性紅斑	1									1							1												
突発性発疹	4						2	2	3	11		3	3	3	1					1									
ヘルパンギーナ	4	1	3	5	4	4	11	8	7	47			16	10	14	1	2	2	1			1							
流行性耳下腺炎					1	1	1	1	1	5					1					1	3								

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

## 眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,  
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~
急性出血性結膜炎										0																			
流行性角結膜炎	1					1		1		3																	1	1	1

### 【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症1例:2歳 男  
 ○ヒトメタニューモウイルス2例:0歳8か月 男2例  
 中央区○アデノウイルス感染症2例:1歳 男2例  
 垂水区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O86a)1例:年齢性別不詳  
 ○細菌性腸炎(サルモネラO4)1例:年齢性別不詳  
 西 区○アデノウイルス感染症1例:年齢性別不詳

### 【基幹定点(市内3ヶ所)からの報告】

細菌性髄膜炎1例:61歳 男

### 【市内の感染症の状況】

#### ○手足口病、ヘルパンギーナ

[手足口病 神戸市HP](#)

例年、夏に流行する手足口病およびヘルパンギーナの定点医療機関からの患者報告数が増加しています。昨年は手足口病が全国的に流行し、神戸市では7月中旬にピーク(定点あたり16.5人)となりました。これらの疾患の原因となるエンテロウイルス、コクサッキーウイルスは、アルコールが効きにくいいため、施設等で患者が発生した際は、次亜塩素酸ナトリウムでの消毒を行いましょ。

#### ○腸管出血性大腸菌感染症

全国的に腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加しています。様々な食品が原因となり感染しますが、国内では、焼肉店などの飲食店や、精肉屋で購入した食肉を、生や加熱不足で食べて感染する事例が多くなっています。市内医療機関からの届出には、海外で生や加熱不足の食肉を喫食し、感染した事例がありました。夏休みにバーベキューなどを行う場合や海外渡航時には、食肉を十分に加熱して食べましょ。また、感染したヒトの手などを介した感染もあるため、十分に手洗いをしましょ。

市内の医療機関から20代男性の風しん患者の発生届出がありました。今年に入って2例目の報告です(1例目は30代男性)。風しんは、感染力の強い病気で、14日~21日(平均16日~18日)の潜伏期間を経て、全身性の発疹(小紅斑、紅色丘疹)、発熱、リンパ節腫脹等の症状が現れます。発疹が出る1週間前から他人へ感染させるおそれがあり、風しんを疑う場合には早期の受診が必要です。また、免疫のない妊娠初期の方が風しんに感染すると、おなかの赤ちゃんにも感染し、先天性風しん症候群と総称される障害を生じることがあります。神戸市では、風しん予防接種の一部助成を行っています。妊娠を希望する女性や妊婦の家族等で風しんの抗体が十分でない方は、助成対象や期間を確認して予防接種を受けましょ。

[風しんに注意しましょ 神戸市HP](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「I」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター

2018年8月1日作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	20代	2018年7月17日	2018年7月23日	2018年7月26日	O157 (VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	腹痛、血便 水様性下痢	不明	-
女	0~4歳	2018年7月19日	2018年7月22日	2018年7月27日	血清型不明 (VT2)	分離・同定による病原体の検出(便)	嘔吐、発熱 水様性下痢	不明	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2018年7月17日	2018年7月17日	2018年7月23日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎	不明	-
女	90代	2018年7月20日	2018年7月20日	2018年7月22日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出(イムノクロマト法)	発熱、肺炎 呼吸困難	不明	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種名	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2018年7月20日	2018年7月21日	2018年7月27日	<i>Enterobacter aerogenes</i>	分離・同定による病原体の検出(腹水) 薬剤耐性の確認	腹膜炎	以前からの保菌	-

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 百日咳)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	10代	2018年6月頃	2018年7月23日	2018年7月27日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳 夜間の咳き込み 呼吸苦・嘔吐	不明	ワクチン接種歴あり(4回)
男	0~4歳	2018年7月頃	2018年7月27日	2018年7月31日	-	検体からの病原体遺伝子の検出(LAMP法)	持続する咳	家族内感染	ワクチン接種歴あり(4回)

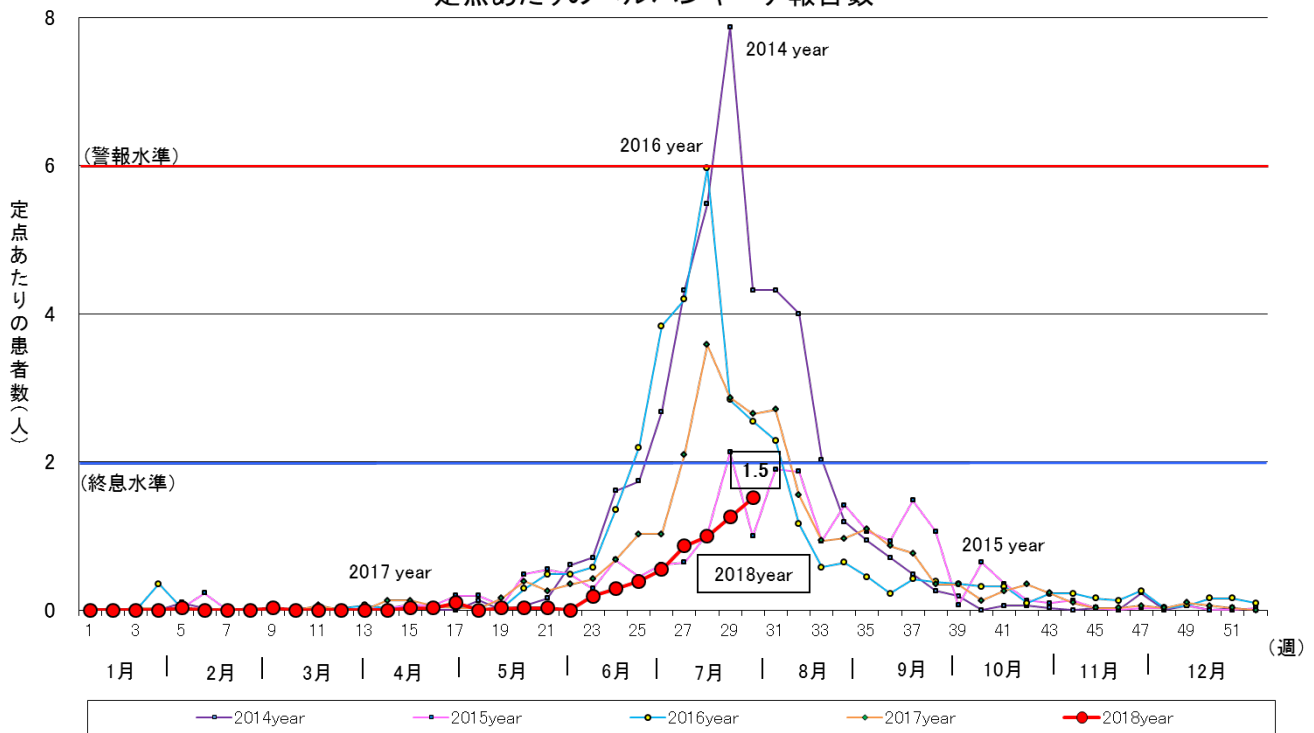
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 風しん)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法(検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2018年7月26日	2018年7月26日	2018年7月30日	検査診断例	血清IgM抗体の検出	発熱、発疹 リンパ節腫脹	不明	ワクチン接種歴あり(1回)

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス1型	咽頭ぬぐい液	中央	0歳9ヶ月男(6/25採取、39.4℃、アデノウイルス感染症)、通っている保育所で複数の患者発生
アデノウイルス2型	咽頭ぬぐい液	東灘	3歳11ヶ月男(7/4採取、39.4℃、咽頭結膜熱)、家族内発生
アデノウイルス型別不明	便	西	5歳10ヶ月女(6/19採取、発熱なし、感染性胃腸炎)
コクサッキーウイルスA6型	咽頭ぬぐい液	東灘	0歳5ヶ月女(7/13採取、39.8℃、手足口病)
コクサッキーウイルスA9型	唾液	北	2歳6ヶ月男(7/12採取、発熱なし、不明発疹症)
コクサッキーウイルスA16型	唾液	北	3歳1ヶ月女(7/10採取、発熱なし、ヘルパンギーナ)
	唾液	北	1歳2ヶ月男(7/10採取、発熱なし、手足口病)、通っている保育所で複数の患者発生
エコーウイルス11型	咽頭ぬぐい液	中央	0歳9ヶ月女(6/22採取、39℃、ヘルパンギーナ)
	髄液 咽頭ぬぐい液 便	中央	5歳男(6/28採取、38℃、無菌性髄膜炎)
	髄液 咽頭ぬぐい液 便	中央	0歳0ヶ月男(7/7採取、38.7℃、無菌性髄膜炎)

### 定点あたりのヘルパンギーナ報告数



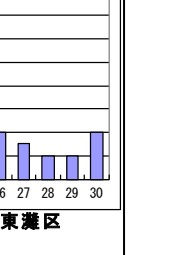
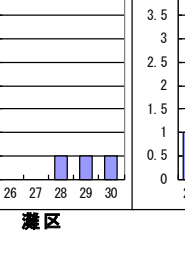
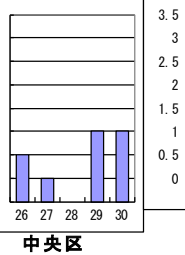
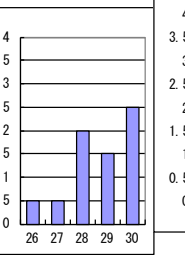
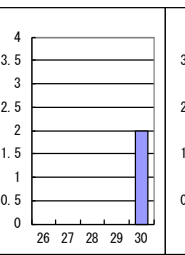
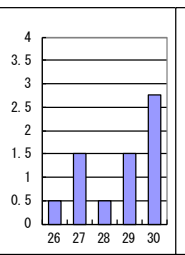
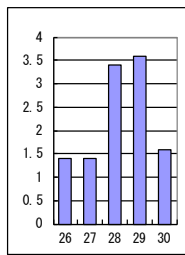
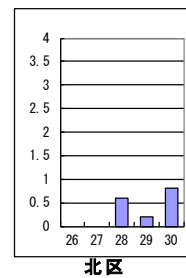
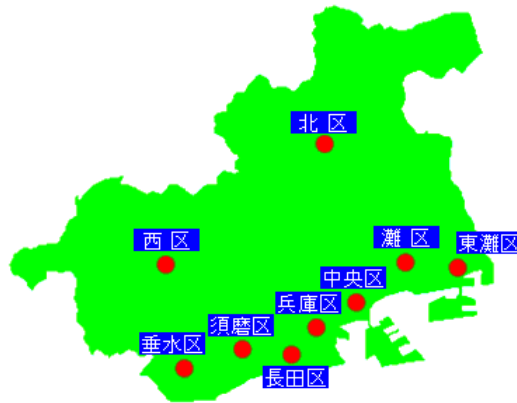
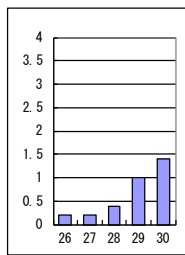
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成30年6月25日

～

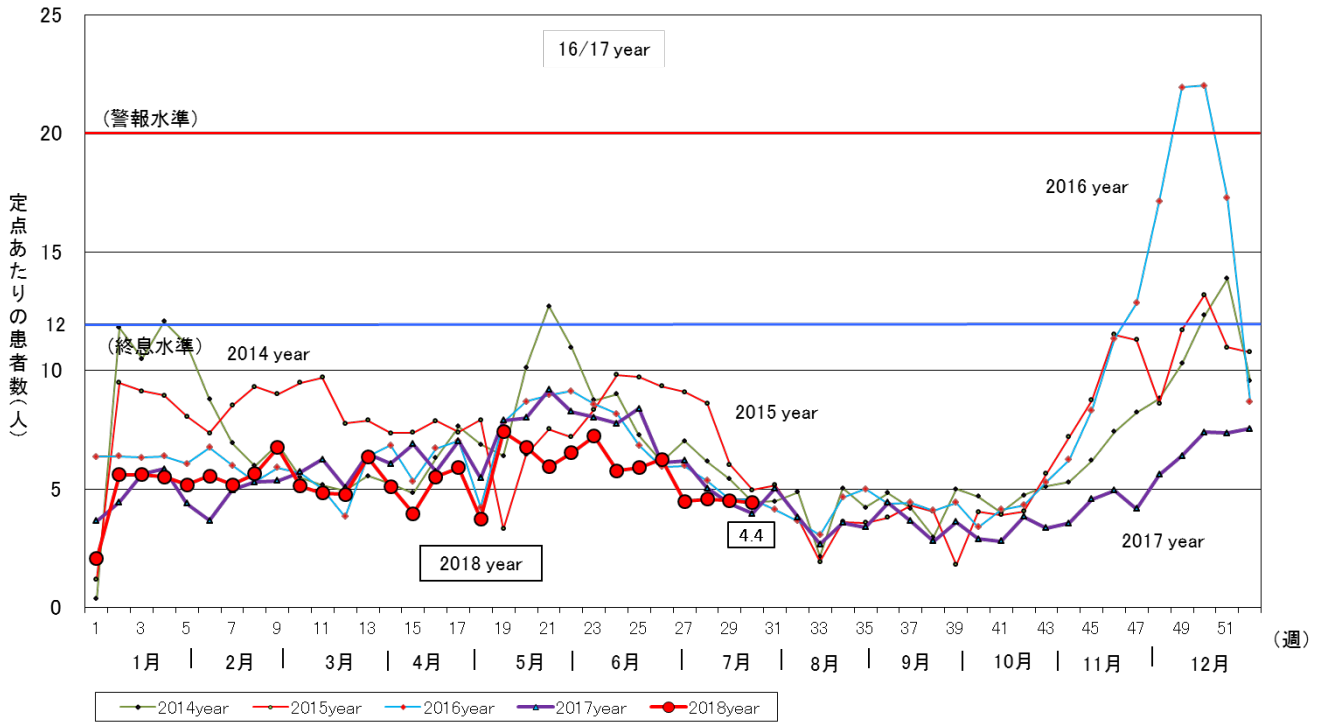
第 30 週 平成30年7月29日

#### ヘルパンギーナ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



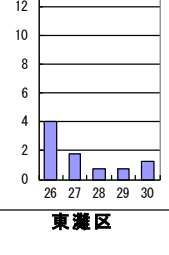
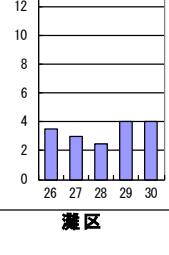
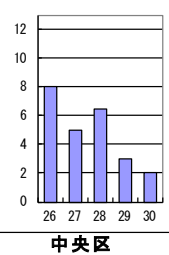
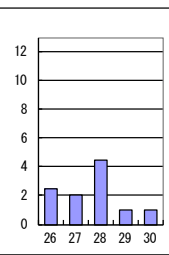
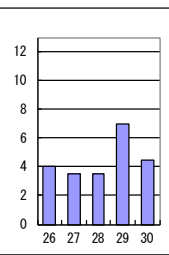
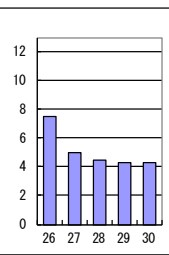
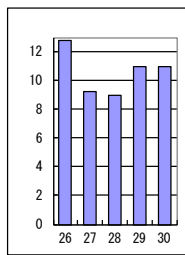
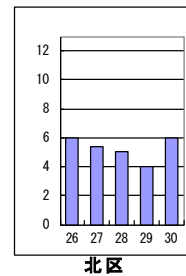
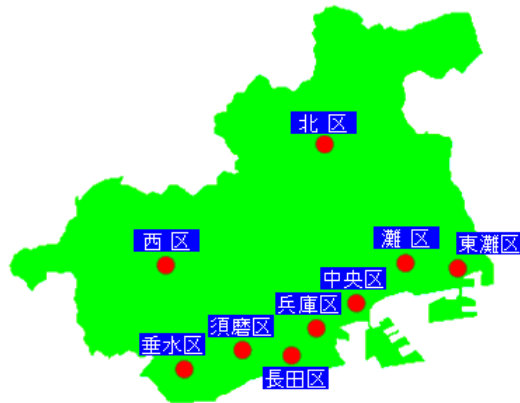
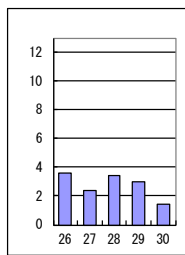
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 26 週 平成30年6月25日

～

第 30 週 平成30年7月29日

#### 感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。